

# 米山記念奨学委員会

米山記念奨学委員長	浦口	英尚	(和歌山城南RC)
カウンセラー補佐	松下	光春	(泉南RC)
学友アドバイザー	河合	利晴	(岸和田東RC)
委員	岩本	道弘	(有田RC)
〃	塩路	良一	(御坊RC)
〃	谷野	一彦	(羽衣RC)
〃	竹本	欣司	(貝塚RC)
〃	松岡	一友	(貝塚コスモスRC)
〃	西村	元秀	(堺泉ヶ丘RC)
〃	楠	玲子	(堺フェニックスRC)

1952年に東京ロータリーが米山梅吉氏の偉業を記念して始めた「米山基金」が、1967年に「財団法人ロータリー米山記念奨学会」として、全日本の地区共同事業として発展し、50年以上を経過しました。この間に世界104カ国約14,500名の奨学生をお世話し、更に今年度800名が増える日本最大の民間奨学団体となっています。数年来、制度の見直し検討が進められ、2006年度より新しい制度に移行しました。先輩達が築き国際的にも高く評価されてきた米山奨学事業を、更に発展させて行き、世界平和実現の一助になり日本がアジアのリーダーであるべく努力したいと考えています。具体的には下記通りです。

1. 地区の米山記念奨学委員会の組織は、ガバナーがトップに立った組織であることを明示した組織図を作成します。全クラブが目標額を達成して地区目標を達成したいと考えます。
2. 委員会は「学友担当」・「寄付増進担当」・「奨学生選考」の3つの担当に別れて、それぞれに計画立案を進めていただきますが、実施に当たっては全委員が協力して行うものとしします。
3. 各クラブの状況を最もよく把握されているガバナー補佐の方々に、担当クラブの米山奨学事業の理解促進と寄付増進の働きをお願いします。

4. 奨学生・学友・クラブ米山カウンセラーが参加して、本年は米山記念館を見学に行き米山奨学金のを理解します。 9月中実施の予定。
  5. 10月米山月間には世話クラブにて米山奨学生の卓話を実施致します。世話クラブでないクラブの卓話もご希望により実施いたします。
  6. 奨学生、学友とのコミュニケーションを計ります米山学友会を支援いたします。
  7. 地区大会に米山奨学生参加、事業内容ポスター掲示。
  8. 社会貢献活動を引き続き実施し、地域の中学生・高校生との交流を図ります。
  9. 奨学生選考に関しては推薦大学をすべて訪問し、一国に偏らない推薦をお願いし大学推薦ならびに選考に関して厳しい検討を重ねていきたいと思ひます。
- \* ロータリアン一人一人が、米山奨学事業は「将来、日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材の育成である」更にこれが世界平和につながる事業であることを確信し、協力して下さることを御願ひします。